鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

医学研究講義のご案内

AI創薬の基礎から最前線、そして未来へ
― 実践から見える可能性と課題 ―

株式会社Elix
共同創業者・CEO

結城　伸哉　先生

<参加申込フォーム>

日時：2026年11月26日（木）16：45～18：15

オンライン（zoom）開催

（お申込みは、11月 19日（木）17時までに ↓参加申込フォーム
https://forms.gle/WXVQcixMPhYdmGJq9 まで。）

*学籍番号は質問等欄ではなく、「ご職名/学年」欄へ記入してください。

◆申込フォーム「所属機関」欄で 鹿児島大学 を選択してください。
◆申込フォーム 「ご職名（学生の方）」欄で必ずご職名・学籍番号を記載してください。（「ご質問・ご連絡事項等（任意）」欄への入力は不要です）
◆申込フォームの内容で本学の博士課程生（必須;学籍番号）と判別できない場合出席カウントされません。

AI技術の急速な進歩により、創薬研究のあり方が大きく変わってきています。一方で、実際の創薬現場ではAIによって何ができるようになり、どのような課題が残されているのでしょうか。

本講演では、AI・機械学習の基本的な考え方や創薬研究における活用方法から紹介し、低分子創薬を中心に、AI創薬の主な技術と最新動向を解説します。
株式会社Elixは、低分子創薬のヒット探索からリード最適化を中心に、AI創薬技術の開発と実用化に取り組んできました。製薬企業・CRO・バイオテック企業・アカデミアとの幅広い共同研究などを通じて、多様な創薬プロジェクトに携わってきました。特に、活性・ADMETなどの予測モデルを活用した、AIによる化合物構造の生成・最適化に力を入れています。
本講演では、こうした数多くのプロジェクトを通じて蓄積してきた経験や知見をもとに、具体的な研究事例を交えながら、AIによって実現できるようになったことに加え、依然として難しいことについても取り上げ、実際の創薬現場から見えてきたAI創薬の現在地を共有します。

最後に、AI技術のさらなる進歩を踏まえ、今後の創薬研究がどのように変わっていくのか、その可能性と課題について考察します。
AI創薬に関する専門知識は問いません。基礎的な内容から紹介するとともに、実際の創薬プロジェクトで得られた成果や課題、最新の技術動向にも触れます。

問い合わせ先：
ヒトレトロウィルス学共同研究センタートランスレーショナルメディシン分野
e-mail:tr-jimu@kufm.kagoshima-u.ac.jp　（内線）6279